

留学報告書 ～一生の友人と出会った留学生活～

ボーリング・グリーン州立大学
外国語学部生（長期）

私は8ヶ月の間オハイオ州にあるボーリング・グリーン州立大学に留学していました。留学に行く前は不安だらけで生活していく自信がなかったのですが、実際は自分の想像より何倍も楽しむことができ、とても充実した日々を過ごすことができました。この留学報告書では、私が苦労したことや経験したこと、これから留学へ行きたいと思っている学生へのメッセージを共有したいと思います。

1. 英語と授業

まず初めに、英語や授業についてです。私は現地で、留学生対象の英語の授業と学部の授業の両方を受講しました。私は留学前に、ある程度英会話とTOEFLを勉強していたので不安な気持ちもありましたが、現地でもやっていけるのではないかと期待していました。しかし現実はそう甘くありませんでした。ネイティブスピーカーの英語は、今まで聞いていた英語よりも2, 3倍速く、ほとんど聞き取ることができませんでした。

また、スピーキングもいざ会話をするときになると緊張してしまい、思うように話すことができなくて落ち込むことがよくありました。そのため、初めは自信を無くし、毎回授業に行くのにとっても緊張しました。しかし、現地で出会った留学生の支えがあったおかげで頑張ることができました。

私の留学していた大学には、日本から来ている留学生が10人ほどおり、いつでも悩みを相談することができました。そして、留学生対象の英語の授業ESOLの中でも、アメリカ生活の不安や英語に関するトピックについて話し合うことができたため、同じ悩みを持つ仲間と共に協力し合いながら、初めの苦しい時期を乗り越えることができました。学部の授業の中でも、グループワークの話し合いに参加できなかつたり、スピーチの発表でつまづいて、うまく発表できなかつたりしましたが、英語力のなさに嘆くのではなく、自分の出来ることを精一杯しようと、前向きに取り組むことを意識していました。

英語力に関して言うと、個人差はあると思いますが、私は6ヶ月目に伸びを実感しました。その6カ月の間に、英語力がなかなか伸びず、じれったさを感じることもありました。時間がかかるものだと言い聞かせることで、ポジティブに、そして長期的な目線で考えることができました。その6ヶ月を過ごした後は、友人たちの会話に入って話すことができたり、スラングを使ってジョークを言ってみたり、最終的には、現地の英語のスピード感について行くことができました。

2. クラブ活動で出会った友人

次に、現地で知り合った友人についてです。私は、現地の友達を作りたいと思い、2つのクラブに所属していました。それはジャパニーズクラブとアウトドアクラブです。特にアウトドアクラブでは本当にたくさんの友達を作ることができました。私は元々、留学の中で、アメリカ人の友達を作ってその子たちと共に現地の文化を体験したいと思っていました。そのため、クラブ紹介のイベントに参加し、自分一人でファーストミーティングに参加しました。初めはうまく話せるか不安でしたが、英語が話せなくても気の合う子とは仲良くなれるだろう、という気持ちで、集まった学生たちに声を掛けました。すると、その中に日本に興味のある子がおり、ジブリやアニメの話で盛り上がり、次の週末に出かけることになりました。その後も、その友達からハロウィンパーティーに誘われたり、友人の誕生日パーティ

一を開いたりするなど留学期間中ずっと仲良くしてくれました。

また、そのパーティーに参加したことがきっかけで、さらに友達が増え、自分の参加できるコミュニティーを広げることができました。中でも嬉しかったことが、日本人としてではなく、「私」というキャラクターを受け入れてくれたことです。アメリカには、日本人だからという理由で興味を持ってくれる人や、逆に差別的な目で見えてくる人もいました。しかし、彼らは私を特別扱いせず、ありのままの私を受け入れてくれました。留学前は控えめで、周りに合わせるが多かった私ですが、彼らと出会ったことで自分に自信が付き、ありのままの自分を表現することができるようになりました。そして海外のノリの良さや生活スタイルがとても気に入って、留学終了後も将来は、海外で活躍したいと思うようになりました。この友人たちは、私の帰国前に友達を集めてお見送りパーティーを開いてくれたり、プレゼントをくれたり、帰国後も連絡を取り合う仲になっています。これからも仲良くしていきたいと思えるような友人に会えたこと、初めに勇気を出して行動してとても良かったと思っています。

また、ジャパニーズクラブでもまるで家族のような大切な仲間を作ることができました。留学の後半は、ジャパニーズクラブで知り合った友達や、日本人留学生、ベトナム人や韓国人の友達など10人以上の友人と共に時間を過ごしました。皆で一緒に食堂でお昼ご飯を食べたり、ラーメン屋さんに行ったり、大学内で共に勉強していました。留学中に日本人留学生の間でトラブルが起きるとよく聞きますが、私たちは皆仲良く、それぞれの友達を紹介しながら自分たちの輪を広めており、帰国間近のご飯会では20人が集まりました。この恵まれた環境のおかげで、対人関係がオープンになったと感じます。現地で知り合った友人、特に留学生は、人と関わることが好きで、遊びに行く時は、仲のいい友人を誘ってグループで行動することが多かったからだと思います。

3. 休みの過ごし方

大学が休みの間は旅行へ行ったり、友人の家に泊まらせてもらったりしました。思い出深い場所はニューヨークとナイアガラの滝です。ニューヨークは大都会で世界の最先端が集まる場所のため、場所からも人からもパワーをもらいましたし、ニューヨークでインターンシップを経験したことがきっかけで将来は海外で仕事がしたいと思うようになりました。

ナイアガラの滝ではその迫力に圧倒され、日本にはない大自然の景色を見ることができ、感動しました。他にも、アメリカ人の友人の家でサンクスギビングを経験しました。七面鳥をオーブンで焼き、伝統料理を並べ、親戚全員でお祝いしました。また、招待してくれたお礼として、日本から持ってきたラーメンを作り、一緒に食べた時は、日本の物を食べているにも関わらず、自分がアメリカにいてアメリカの方と食べていることがとても不思議に感じました。日本にはない文化を現地の方と体験できたことはとても貴重な経験だったと思います。

4. まとめ

留学中は言葉の壁にぶち当たり、何度も涙をこぼすことがありました。しかし、そのたびに支えてくれる友人や互いに励まし合う仲間がいたからこそ乗り越えることができたのだと思います。留学で様々な文化に触れ、自分らしさやオープンマインドを持つことができ、現地の文化も体験することができて、人生で一番充実した9ヶ月だったと思います。もし海外の文化に興味がある、暮らしてみたい、自分を変えてみたいという思いがある学生にとって、留学はとてもいいチャンスだと思います。これからも積極性とチャレンジ精神を忘れず、海外でも活躍できる人になっていきたいと思っています。(2898文字)



←BGSU のマスコットと
ルームメイト

→大学のフットボール
のアリーナ



←アウトドアクラブで仲
良かった友人たち

→パーティーでフットボ
ールをした時の様子



←ジャパニーズクラブで知
り合った友人と BGSU サイン
の前で撮った写真

→カナダ側からのナイアガ
ラの滝

